

科目名称	文章表現の基礎Ⅱ				ビジネス・キャリア	(必)	オフィス情報	(必)	
英文科目名称	Basics of Japanese Academic Writing II				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(必)	
科目コード	590128	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	田中 利砂子		年次配当	1年次	後期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(必)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無				
授業概要及び授業方法	<p>文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで、文章表現の基礎Ⅱでは、前期開講科目の文章表現の基礎Ⅰに引き続き、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。また、社会人になるためには「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。そこで、毎回の授業をグループワーク形式で進め、グループ内で意見を交換する過程を繰り返すことにより、主体性、深く考える力、チームで協力する姿勢を養成する。本科目では、特にアカデミック・ジャパニーズの習得に焦点を当て、レポートの作成方法について学ぶ。さらに、グループ内で議論を繰り返すことにより、プレゼンテーション力の向上を図る。</p>								
関連する科目	文章表現の基礎Ⅰ				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、14課 レポートとは何かを知る（前半） 2. 14課 レポートとは何かを知る（後半） 3. 15課 テーマを絞りこみ、資料を探す（前半） 4. 15課 テーマを絞りこみ、資料を探す（後半） 5. 16課 論拠を示す（前半） 6. 16課 論拠を示す（後半） 7. 17課 文献から引用する（前半） 8. 17課 文献から引用する（後半） 9. 18課 アンケート調査をする 10. 19課 図表を利用する（前半） 11. 19課 図表を利用する（後半） 12. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す（前半） 13. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す（後半） 14. 21課 レポートを仕上げる（前半） 15. 21課 レポートを仕上げる（後半） 								
授業時間外の学習	<p>【予習】「使用教材」の該当課を事前に読んで予習しておくこと。（2時間程度） 【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。課題は確実に遂行すること。（2時間程度）</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 客観的な文章が書けるようになる。 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく。 ③ 論理的に思考することができる。 								
課題に対するフィードバック	課題やプレゼンテーションのフィードバックは、授業時に適宜行う				評価方法・基準	積極的な授業態度20点 課題30点 最終レポート50点			
テキスト	野田春美ほか（2016）『グループワークで日本語表現アップ』ひつじ書房								
参考書	石黒圭（2012）『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社								
備考	特になし。								